

平成24年行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	水産基盤整備事業に必要な経費		担当部局庁	内閣府 沖縄振興局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度		担当課室	参事官(振興第二担当)		参事官 青木 勉		
会計区分	一般会計		施策名	39 沖縄における社会資本等の整備				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	沖縄振興特別措置法第105条第1項 漁港漁場整備法第20条		関係する計画、 通知等	沖縄振興計画 漁港漁場整備長期計画				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	我が国周辺水域における水産資源の生産力の向上、国際競争力の強化と力強い産地づくりの推進、水産物の安定的な供給の確保を図る。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	つくり育てる漁業及び資源管理型漁業を推進するための魚礁の設置や増養殖場の整備、台風等の荒天時における漁船の安全係留の確保のための漁港の整備、排他的経済水域での漁業活動の前進・避難基地としての漁港整備等を実施(補助率9/10等)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状況	当初予算	5,391	4,639	4,105	3,919	4,255	
		補正予算	641	491	0	0		
		繰越し等	470	48	-366	1,489		
		計	6,502	5,178	3,739	5,408	4,255	
	執行額		6,435	5,148	3,739			
執行率(%)		99	99.4	100				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	漁場再生及び新規漁場の整備による新たな水産物の提供量 ※下段()書きは年度目標値、上段は年度実績値 ※成果目標は事業実施省庁で全国値を設定 ※成果実績は事業実施省庁で全国値を集計		成果実績	万トン	8.4 (8.0)	10.7 (11.2)	12.3 (14.5)	14.5 (23)
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	漁場再生・新規漁場整備箇所 (浮き魚礁の新設・更新箇所)		活動実績 (当初見込み)	箇所	1	2 (2)	2 (2)	7
単位当たり コスト	浮き魚礁(表層型) 120(百万円/基) 浮き魚礁(中層型) 53(百万円/基)		算出根拠	浮き魚礁1基の製作(工場)~運搬~海上設置までの平均的なコスト				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	水産流通基盤整備事業費補助	1,055	960					
	水産物供給基盤機能保全事業費補助	318	564					
	水産環境整備事業費補助	450	200					
	水産生産基盤整備事業費補助	2,096	2,531					
	計	3,919	4,255					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	成果目標等は事業実施省庁で全国値を作成。達成度等は事業実施省庁で全国値を集計中。
	P	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>我が国の水産物の自給率向上を図ることは優先して取り組まなければならない課題であり、東西1,000km、南北400kmに及びマグロをはじめとした豊富な水産資源を有する沖縄の漁業の役割は重要。 また、沖縄県は全国で2番目に多い有人離島、国境離島を抱え、広大な排他的経済水域を有しており、沖縄の漁業は国境監視・領土保全の上からも重要。 これまで、沖縄県では漁業を支えるため、計画的に漁港・漁場の整備をすすめており、また事業の実施にあたっては、事業の重点化、コスト削減の取組みを行う等、適切に事業を実施している。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き事業実施省庁と連携し、事業の進捗状況を的確に把握し、今後の事業計画に適切に反映すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、適正な予算の執行に努めたい。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>平成22年度行政事業レビュー公開プロセス結果 予算要求の縮減(10%程度を縮減)</p> <p>平成23年度農林水産省行政事業レビュー点検結果 抜本的改善(コストの削減、繰越の防止)</p> <p>平成23年度内閣府行政事業レビュー点検結果 現状通り(事業実施省庁と連携し、事業の進捗状況を的確に把握し、今後の事業計画を検討)</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0110	平成23年行政事業レビュー	0110

※平成23年度実績を記入

内閣府
3,739百万円

予算移し替



農林水産省(水産庁)
3,739百万円

沖縄県に対する補助金の交付、指導監督



A. 沖縄県
3,739百万円

県下の市町村等に対する補助金の交付、指

A. 沖縄県
(県営事業)
3,414百万円



B. 市町村
(市町村営事業)
4市町村
317百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

A.沖縄県			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	県が実施する水産基盤整備事業	3,414			
補助金	市町村が実施する水産基盤整備事業に対する補助	317			
指導監督費	市町村に対する指導監督に係る経費	8			
計		3,739	計		0
B.宜野座村			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	水産基盤整備事業(宜野座漁港)	155			
計		155	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	沖縄県	県が実施する水産基盤整備事業、市町村が実施する水産基盤整備事業に対する補助、市町村に対する指導監督に係る経費	3,739	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	宜野座村	漢那漁港の整備	155		
2	うるま市	津堅漁港の整備	139		
3	恩納村	前兼久漁港の整備	12		
4	久米島町	浮魚礁の設置	11		
5					
6					
7					
8					
9					
10					